

# シプレクス J Flagアブソリュート・リターン・ファンド (適格機関投資家限定/年金向け)に関する提案資料

## シプレクス・J Flag アブソリュート・リターン・ファンドのパフォーマンス

### ◆ 当ファンドの特色

シプレクス J Flagアブソリュート・リターン・ファンド(以下「当ファンド」といいます。)は主に、シプレクス・J Flag アブソリュート・リターン・マザーファンド受益証券への投資を通じて、わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とし、積極的に運用を行なうことを基本とし、中長期的な信託財産の成長を目指します。またマザーファンドは主に日本株式(優先出資証券含む)への投資によって、絶対収益を獲得することを目指します。また国内株式市場に対する見通しに応じて、国内債券および短期金融商品への資産配分を行う場合もあります。マザーファンドの運用については、J Flagインベストメント株式会社から投資助言を受けます。

### ◆ 当ファンドの概要

【設定日】2009年7月9日 【収益分配】 毎決算時  
【償還日】2019年7月10日 【決算日】 7月10日(当該日が休業日の場合は翌営業日)

### ◆ 当ファンドの現況<sup>\*1</sup>

【基準価額】 11,595 円  
【純資産総額】 1,145 百万円

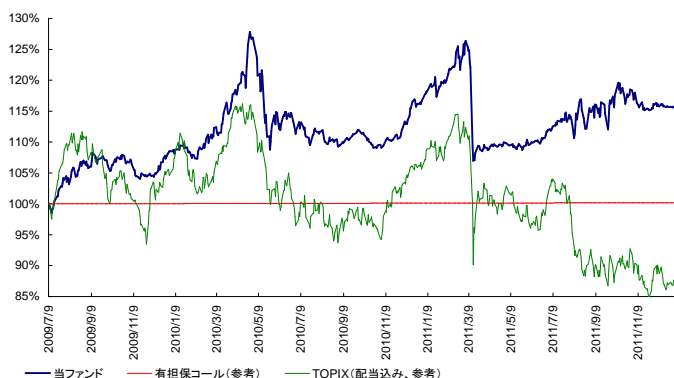
### ◆ 収益分配金(1万口当り、円、税引前)<sup>\*4</sup>

分配単価	第1期	第2期	第3期
	(2010/7/12)	(2011/7/11)	(2012/7/10)
0	0		

### ◆ 基準価額の月次騰落率<sup>\*1,2,3</sup>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2009年度	-	-	-	4.10%	2.32%	0.61%	-0.13%	-2.07%	3.68%	-0.18%	2.01%	5.60%
2010年度	8.78%	-9.90%	-2.06%	-0.16%	-2.25%	2.49%	-2.20%	1.27%	5.07%	2.53%	3.77%	-11.64%
2011年度	0.37%	-0.08%	1.64%	1.45%	1.39%	1.16%	1.84%	-2.43%	0.26%			

### ◆ 設定来の騰落率の推移



### ◆ 基準価額の騰落率<sup>\*1,2,3</sup>

	当月	3ヶ月	今年度	設定来
当ファンドの騰落率	0.26%	-0.38%	5.66%	15.95%
【ご参考】有担保コール	0.01%	0.02%	0.06%	0.18%
【ご参考】TOPIX(配当込)	0.13%	-4.17%	-15.15%	-12.33%
【ご参考】JASDAQ指数	3.15%	-1.17%	-6.18%	-1.60%
【ご参考】東証マザーズ指数	3.94%	-1.48%	-13.91%	-10.97%

## シプレクス・J Flag アブソリュート・リターン・マザーファンドの運用状況

### ◆ 株式運用概況(当月末ベース)

投資比率および内訳(時価ベース、%)		ロング	ショート
株式(上場REIT含む)		8.9%	0.0%
株式組入れ銘柄数		11	0
先物	日経225	-	-
	TOPIX	-	-
国債	割引短期国債	51.9%	-
	利付国債	-	-
一般債		-	-
コール、他		39.2%	-
合計		100.0%	0.0%

### ◆ 組入れ銘柄

ロング株式組入比率上位5業種	業種名	組入比率
	サービス業	5.6%
	小売業	1.9%
	化学	0.7%
	情報・通信業	0.6%
	不動産業	0.1%

ショート株式組入比率上位5業種	業種名	組入比率

### ◆ 月次のリスク及びリターンの状況<sup>\*5,6</sup>

マザーファンドリターン	0.36	%
有担保コールリターン	0.01	%
VaR	12	百万円
VaR	1.02	%

### ◆ 当月の運用概況

12月の日本株式市場は、前月末からの地合いを引継ぎ、中旬までは堅調な展開となったものの、TOPIXは前月比ほぼ横這いで2011年の取引を終えました。相対的には新興市場の銘柄の値動きが底堅く推移しました。ファンドのリターンはプラス圏で終わり、TOPIXを若干上回る水準となりました。当月は引続き市場に対する慎重な投資姿勢を維持しました。ポジションはロングとショート共に縮小させキャッシュの積み増しを行いました。ロングの銘柄入れ替を若干行い、小型株バイアスを強めました(ロングは14.5%→8.9%、ショートは1%→0%)。当面は現在の慎重な投資姿勢を維持し、次の投資機会を探るスタンスを継続します。投資機会があると思われる場合は機動的に株式のポジションを積み増し、収益の上積みを目指したいと考えています。

\*1 基準価額及び純資産総額は信託報酬(年1.05%、税込)、成功報酬(ハイウォーターマーク超過分の18.9%、税込)控除後の値です。

\*2 基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資し計算しております。

\*3 2009年7月の騰落率は、当ファンド設定日(2009年7月9日)から2009年7月末日までの騰落率としております。

\*4 上記は過去のものであり、将来の分配金及びその金額について保証するものではありません。

\*5 VaR(バリュアットリスク)は95%信頼度の月次の値としております。

\*6 VaRはBloomberg社の提供するリスク管理モデル(モンテカルロシミュレーション)を用いて月次のVaRを算定しております。

■当資料は、投資家の皆様へ、当社が設定運用しております「シプレクス・J Flagアブソリュート・リターン・ファンド(適格機関投資家限定/年金向け)」(以下「当ファンド」といいます。)のコンセプトおよびその主要投資対象に対してご理解を促すため、幅広く作成した資料であり、金融商品取引法、投資信託及び投資法人に関する法律に基づく開示資料ではありません。■当資料は、信頼できる情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について当社が保証するものではありません。■当資料に掲載されている数値・図表等は、当資料作成時点のものであり、また、当資料に示された情報は、当資料作成時点における弊社の判断による内容で、将来の市場環境等の変動を保障するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の運用成果等を保証するものではありません。■当ファンドを設定すると仮定して、投資信託の基準価額は、投資信託財産に組入れられている有価証券等の特性による値動きにより影響や、為替相場の変動等の影響を受ける可能性があります。また、これらの運用による損益はすべて投資家の皆様へ帰属します。従いまして、当ファンドは元本が保証されるものではありません。また、投資成果を事前に保証するものではありません。■投資信託は、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社以外の登録金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。■投資信託は預貯金とは異なります。■当資料の内容については、予告なく変更される場合があります。■投資料の無断転写、転載は出来ません。当資料の第三者への提供は固くお断りいたします。

シンプレクス J Flagアブソリュート・リターン・ファンド(適格機関投資家限定/年金向け)に関するご説明

■シンプレクス J Flagアブソリュート・リターン・ファンド(適格機関投資家限定/年金向け)(以下「当ファンド」という。)の主な投資リスク

株価変動リスク

- 株式市場は、国内外の政治・経済情勢の変化や各国の金利市場・為替市場等の影響を受け変動します。
- また、発行企業の業績や市場の需給等にも影響を受けます。
- 発行会社の倒産、財務状況または信用状況の悪化等の影響により組入れ銘柄の株価が下落した場合、当ファンドの投資性かに重大な損失が生じる可能性があります。
- 株式は短期的または長期的に大きく下落することがあり、その場合には基準価額が大きく下落する要因となります。

金利変動リスク

- 金利変動により債券価格が変動するリスクをいいます。
- 一般に金利が上昇した場合には、債券価格は下落します。
- また金利水準の大きな変動は株式市場に影響を及ぼす場合があり、投資対象ファンドの基準価格の変動要因となります。

信用リスク

- 投資している有価証券等の発行会社の倒産、財務状況または信用状況の悪化等の影響により有価証券等の価格が下落すると、投資対象ファンドの基準価格の下落要因となります。

流動性リスク

- 当ファンドは流動性の高い銘柄に投資する可能性があります。
- 流動性の高い銘柄へ投資を行う場合、銘柄の売買タイミングにおいては、市場動向を注視しつつ実施していきます。
- 従って、当ファンドの一部解約に際しては、前述の流動性リスクを含んだ対応となる可能性があります。

為替変動リスク

- 当ファンドが外貨建資産を保有する場合、当該通貨と円との為替変動の影響をうけ、損失が生じる場合があります。

派生商品リスク

- 金融契約に基づくデリバティブとよばれる金融派生商品を用いることがあり、その価値は基礎となる原資産価値などに依存し、またそれらによって変動します。デリバティブの価値は、種類によっては、基礎となる原資産の価値以上に変動することがあります。
- また、取引相手の倒産などにより、当初の契約通りの取引を実行できず損失を被るリスク、取引を決済する場合に反対売買ができなくなるリスク、理論価格よりも大幅に不利な条件でしか反対売買ができなくなるリスクなどがあります。

ファミリーファンド方式に起因するリスク

- 当ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。そのため、当ファンド以外にマザーファンドへ投資するペビエーファンドがある場合、当該ペビエーファンドの追加設定・解約等によりマザーファンドに資金の流入が生じる場合があります。その結果として、マザーファンドにおいて組入る有価証券の売買等が生じた場合には、当ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。

■当ファンドの概要

ファンド名	シンプレクス・J Flag アブソリュート・リターン・ファンド(適格機関投資家限定/年金向け)
商品分類	追加型投信/国内/株式/特殊型/適格機関投資家私募
信託期間	10年(平成31年(2019年)7月10日まで)
決算日	年1回 7月10日(休業日の場合はよく営業日)
お申込単位	1万口以上1口単位又は1万円以上1円単位(当初1口=1円)
設定日	平成21年7月9日(木)
継続申込期間	平成21年7月9日(木)以降、毎営業日
お申込価額	取得申込日の基準価額
一部解約請求	原則として毎営業日、解約請求を受け付けます
解約代金の受渡	解約代金の受け渡しは、原則として一部解約請求日から起算して4営業日目からとします
解約単位	1口単位として販売会社が定める単位
委託会社	シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
投資助言会社	J Flag インベストメント株式会社
受託会社	中央三井アセット信託銀行株式会社(再信託先:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
販売会社	中央三井信託銀行株式会社(再委託先:中央三井アセット信託銀行株式会社)
お申込手数料	なし
信託財産留保額	一部解約請求日の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額
信託報酬	純資産総額に対して年率1.05%(内訳 / 委託会社:0.9765%(委託会社:0.3675%、投資助言会社:0.609%)、販売会社 0.0105%、受託会社 0.063%) 【税抜】年率1.00%(内訳 / 委託会社:0.93%(委託会社:0.35%、投資助言会社:0.58%)、販売会社 年0.01%、受託会社 年0.06%)
成功報酬	成功報酬計算基準価格(当初1万円)を上回った場合、その18.9%【税抜き】18%

■主な投資制限

- 1 マザーファンドへの投資割合には制限を設けません。
- 2 株式への実質投資割合には、制限を設けません。
- 3 新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の20%以下とします。
- 4 同一銘柄の株式への実質投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の20%以下とします。
- 5 投資信託証券(マザーファンドを除きます。)への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。
- 6 外貨建資産への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の30%以下とします。
- 7 株式および派生商品の買建て金額(ロング・ポジション)の実質投資割合は信託財産の純資産総額の100%以下とします。
- 8 株式および派生商品の売建て金額(ショート・ポジション)の絶対金額での実質投資割合は信託財産の純資産総額の100%以下とします。
- 9 同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への実質投資割合は、取得時において、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
- 10 有価証券先物取引等は約款第22条の範囲で行います。

■委託会社の概要

シンプレクス・アセット・マネジメント 株式会社  
金融商品取引業者:関東財務局長(金商)第341号  
加入協会:社団法人投資信託協会、社団法人日本証券投資顧問業協会

■投資助言会社の概要

J Flag インベストメント株式会社  
金融商品取引業者:関東財務局長(金商)第2218号

■当資料は、投資家の皆様へ、当社が設定運用しております「シンプレクス・J Flag アブソリュート・リターン・ファンド(適格機関投資家限定/年金向け)」(以下「当ファンド」といいます。)のコンセプトおよびその主要投資対象に対してご理解を高めるために作成した資料であり、金融商品取引法、投資信託及び投資法人に関する法律に基づく開示資料ではありません。■当資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について弊社が保証するものではありません。■当資料に掲載されている数値・図表等は、当資料作成時点のものであり、また、当資料に示された見解は、当資料作成時点における弊社の判断によるものです。■当資料中のいかなる内容も、将来の市場環境等の変動を保障するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の運用成果等を保証するものではありません。■当ファンドを設定すると仮定して、投資信託の基準価額は、投資信託財産に組み入れられている有価証券等の特性による流動性により影響や、為替市場の変動等の影響を受ける可能性があります。■当資料の運用による損益はすべて投資家の皆様へ帰属します。従って、当ファンドは元本が保証されるものではありません。また、投資成果を事前に保証するものではありません。■投資信託は、積立保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社以外の登録金融機関で購入了る投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。■投資信託は預貯金とは異なります。■当資料の内容については、予告なく変更される場合があります。■投資料の無断転写・転載は出来ません。当資料の第三者への提供は固くお断りいたします。